

当案内および過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこのたび、下記項目の検査受託を開始することとなりましたのでご案内いたします。

弊社では皆様のご要望にお応えすべく、今後とも検査の新規拡大に努めてまいります。

敬具

記

新規受託項目

- [13711] (検診) HPV検査単独法 (簡易ジェノタイプ判定)^{*1}
- [13705] (検診) HPV検査単独法 (9種判別)^{*2}

注 *1: [25840] HPV-DNA 簡易ジェノタイプ判定《TaqManPCR法》で測定します。

*2: [27254] HPV簡易ジェノタイプ判定 (9種判別) で測定します。

結果が陽性の場合、[13442] 婦人科細胞診 (トリアージ検査) を自動追加します。

受託開始日

- 2025年4月7日(月)



HPV検査単独法

HPV検査単独法は30～60歳の女性を対象に行われる子宮頸がん検診です。

2024年2月に厚生労働省より「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が改正され、子宮頸がん検診ではHPV検査単独法の実施が同年4月から適用されました。本検査は、2024年2月に公表された「対策型検診におけるHPV検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル」に基づいて行います。

HPV検査単独法による子宮頸がん検診のアルゴリズムでは、ヒトパピローマウイルス (HPV) 核酸同定検査を実施し、陽性であればHPV検査の残余検体を用いて細胞診検査によるトリアージ検査を実施いたします。

検査要項

項目コード	13711	13705
検査項目名	(検診) HPV検査単独法 (簡易ジェノタイプ判定) ^{*1}	(検診) HPV検査単独法 (9種判別) ^{*1}
検体量	LBC用採取液 (ThinPrep) 全量 [容器番号：81番] ^{*2} または LBC用採取液 (SurePath) 全量 [容器番号：82番]	
保存方法 (安定性)	LBC用採取液 (ThinPrep) 常温 (6週) LBC用採取液 (SurePath) 常温 (4週)	LBC用採取液 (ThinPrep) 常温 (30日) LBC用採取液 (SurePath) 常温 (4週)
検査方法	ロシュ・リアルタイムPCR法	リアルタイムPCR法
基準値	検出せず	
報告様式	HPV 検出せず/陽性/判定不能 ^{*3} 細胞診 HPV 検出せずの場合：省略 HPV 陽性の場合：細胞診検査中 ^{*4} ※細胞診検査の結果は細胞診検査報告書で報告します。	
所要日数	3～4日	
検査実施料	—	
備考	*1：HPV検査単独法のご依頼を希望される場合は、事前に営業担当者までご連絡ください。 *2：採取部位は子宮頸部です。指定容器を用いて、分注をせず全量をご提出ください。 検体採取方法は総合検査案内「LBC検体提出の留意点」を参照ください。 *3：判定のみの報告となります。測定の対象となるHPV型は [25840] および [27254] と同じです。 *4：HPV陽性の場合、[13442] 婦人科細胞診 (トリアージ検査) を自動追加します。	

【[13442] 婦人科細胞診 (トリアージ検査) について】

- 細胞診の結果報告は別途、細胞診検査報告書でご報告します。
- 細胞診検査の結果は、ベセスダ分類になります。
- 婦人科細胞診 (トリアージ検査) の所要日数はHPVの検査終了から5～7日です。なお、細胞診専門医の判定が必要な場合は通常よりも所要日数を要します。

参考文献

厚生労働科学研究費補助金 (がん対策推進総合研究事業) 「子宮頸がん検診におけるHPV検査導入に向けた実際の運用と課題の検討のための研究」研究班：「対策型検診におけるHPV検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル」2024年2月